



《学校教育目標》 「自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成」  
「かしこく」自ら学ぶ子 「やさしく」心豊かな子 「たくましく」やりぬく子

## 北川小学校伝統の校内科学発表会

北川小学校では、本校出身の科学者 渡邊伊三郎氏が昭和28年に「渡邊科学賞」を創設され、それ以来、多くの子どもたちが夏休みに科学研究に取り組んでいます。9月8日(金)に開かれた校内科学研究発表会では、各学年から代表者が自分の研究内容を発表したり、友達の発表を聞いたりして、「科学する」ことの楽しさやすばらしさにふれました。生活経験の中から、不思議に思ったことについて観察や実験を通して調べていたり、昨年の研究の過程で見つけた新たな疑問について調べた研究などすばらしい内容でした。

科学研究を行うことは、自分で課題を見つけて追求していく「学びに向かう力」の育成につながっていきます。

### 【校内科学発表会 研究テーマ】

- 1年 「カブトムシのあるきかた」 「カブトムシのちからのつよさしらべ」
- 2年 「色のくみ合わせ」
- 3年 「色水の温度のちがい」 「一しゅんで水がこおる」 「光る結晶をつくる」  
「調味りょうにたまごをつけたらどうなるか調べよう」
- 4年 「カビの観察」 「ふしぎな空気」 「古い10円玉をキラキラにしたい」
- 5年 「水の吸水力」 「塩水のかわき方のちがい」 「太陽とかげの関係」
- 6年 「布の吸水力調べ」 「果物がうかぶかうかばないかは水の種類が関係しているのか」



### 渡邊伊三郎氏について

小田郡北川村有江の出身です。戦後は、国のエネルギー問題に取り組んだ科学者で、昭和28年に北川小学校に青少年の育成を目的とした「渡邊科学賞」を創設されました。(「北川の人物～孫たちに語り継ぎたい人々～」より)

### かさおか海の学習 9月12日(火)・13日(水) in 北木島

5年生は、「かさおか海の学習」に行ってきました。笠岡の港から船に乗って30分、北木島にある宿泊研修所(旧:北木小学校)に到着しました。入所式で言われたことは、「北木島のすばらしいところ、友達のすばらしいところをいっぱい見つけてください。」3艘の漁船に分乗して見学した「底曳き網漁」では、獲れた魚に大喜びでした。多くの歴史的建造物にも使われている「北木石」の加工工場見学や石切り場跡地の見学、北木島に伝わる「流し雛」作りの体験など、豊かな自然に恵まれた北木島を満喫しました。キャンプファイヤーなど楽しい研修をはじめ、食事の準備、清掃活動などを通して規律ある生活態度や協力することの大切さ、友達のよさ、何よりも研修をやり遂げたことで自分の持っている力のすばらしさに気付くことができました。

